

ニ「フランス」國政府ハ協議決定セラルベキ様式ニ從ヒ前記日本國軍ニ對シ必要ナル通貨ヲ提供スベシ本年ニ付テハ右通貨ノ額ハ二三、〇〇〇、〇〇〇印度支那「ピアストル」即チ月額約四、五〇〇、〇〇〇印度支那「ピアストル」ニ達スベク右額ハ從前ノ諸協定ニ依リ規定セラルル「トンキン」駐屯日本國軍ニ提供セラルベキ通貨ヲ含マザルモノトス

日本國政府ハ前記通貨ニ付「フランス」國政府ノ選擇ニ依リ自由圓、米弗又ハ金ヲ以テ支拂ヲ爲スノ用意アリ

二「フランス」國政府ハ前記日本國軍ノ進駐ノ大綱ヲ承認シ且印度支那軍トノ不慮ノ衝突ノ發生ヲ回避スル爲一切ノ有效ナル措置ヲ執ルベシ

三日本國軍ノ行動ニ關スル細目ハ現地ニ於ケル日本國軍及佛國軍當局間ニ協議決定セラルベシ

本大臣ハ茲ニ重テ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬具

千九百四十一年七月 日「ヴィンシー」ニ於テ

内務省官制中改正ノ件

右謹テ上奏シ恭シク

聖裁ヲ仰キ併セテ樞密院ノ議ニ付

セラレムコトヲ請フ

昭和十六年八月十九日

内閣總理大臣公爵近衛文磨



勅令第

號

内務省官制中左ノ通改正ス

第一條中「土木、」ノ下ニ「地方計畫、」ヲ加フ

第四條中「土木局」ヲ「國土局」ニ、「計畫局」ヲ「防空局」ニ改ム

第七條中「土木局」ヲ「國土局」ニ改メ同條第一號ヲ第二號トシ以下順次繰下ゲ同條ニ第一號トシテ左ノ一號ヲ加フ

一 地方計畫及都市計畫ニ關スル事項

第九條 防空局ニ於テハ防空ニ關スル事務ヲ掌ル

第十條中「專任内務理事官七人」ヲ「專任内務理事官八人」ニ改ム

第十二條第一項中「内一人」ヲ「内二人」ニ改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

臨時郵便取締令

右謹テ上奏シ恭シク

聖裁ヲ仰キ併セテ樞密院ノ議ニ付

セラレムコトヲ請フ

昭和十六年九月十五日

内閣總理大臣公爵近衛文麿

